

- 第13回理事会（平成27年6月17日）
 - ✓ 広域機関システム用通信回線(関西エリア)の契約締結について
 - ✓ 日本電力調査委員会からの資料等の承継について
 - ✓ 計画策定プロセスの期間中における系統アクセス業務の取扱いについて
- 第14回理事会（平成27年6月24日）
 - ✓ 本拠点整備に関する建設工事の契約締結について
- 第15回理事会（平成27年6月29日）
 - ✓ 平成27年度供給計画の取りまとめについて
 - ✓ 事務局内のグループ及び権限表の変更について
- 第16回理事会（平成27年7月1日）
 - ✓ 年次報告書(平成27年度版)の公表について
- 第17回理事会（平成27年7月7日）
 - ✓ 送配電等業務指針83条に基づく計画策定プロセス開始要否の確認結果について
- 第18回理事会（平成27年7月15日）
 - ✓ 広域系統整備委員会の委員退任に伴う委員の選任について

- 第19回理事会（平成27年7月22日）
 - ✓ 小売電気事業者となろうとする者の加入手続に係る様式の制定・変更について
 - ✓ 再エネ出力抑制に関する公表について
- 第20回理事会（平成27年7月29日）
 - ✓ 連系線利用に係る契約の認定について
- 第21回理事会（平成27年7月31日）
 - ✓ 役員の選任等について
 - ✓ 臨時総会および拡大会議の開催・招集等について
- 第22回理事会（平成27年8月5日）
 - ✓ 紹介ツール制作に関する業務委託契約の締結について
- 第23回理事会（平成27年8月19日）
 - ✓ 計画策定プロセスの検討開始要件の適否について
- 第25回理事会（平成27年8月28日）
 - ✓ 調整力等に関する海外事例の調査委託に関する契約締結について
 - ✓ 発電設備等系統アクセス業務に係る情報公表について

- 第26回理事会（平成27年9月2日）
 - ✓ OAシステムの改良計画について

- 第27回理事会（平成27年9月9日）
 - ✓ 本拠点における各システムの運用開始に向けた通信回線契約の締結について

- 第28回理事会（平成27年9月16日）
 - ✓ 広域運用センター用電話システムの契約変更について

平成27年9月26日(土)に、四国エリアの気候の影響による需要増加等に伴い、広域的な融通を行わなければ、需給状況が悪化するおそれがあったため、本機関は、業務規程第52条に基づき、下記のとおり、会員に指示を行いました。

1. 指示を受けた会員の名称

- ・中国電力株式会社
- ・四国電力株式会社

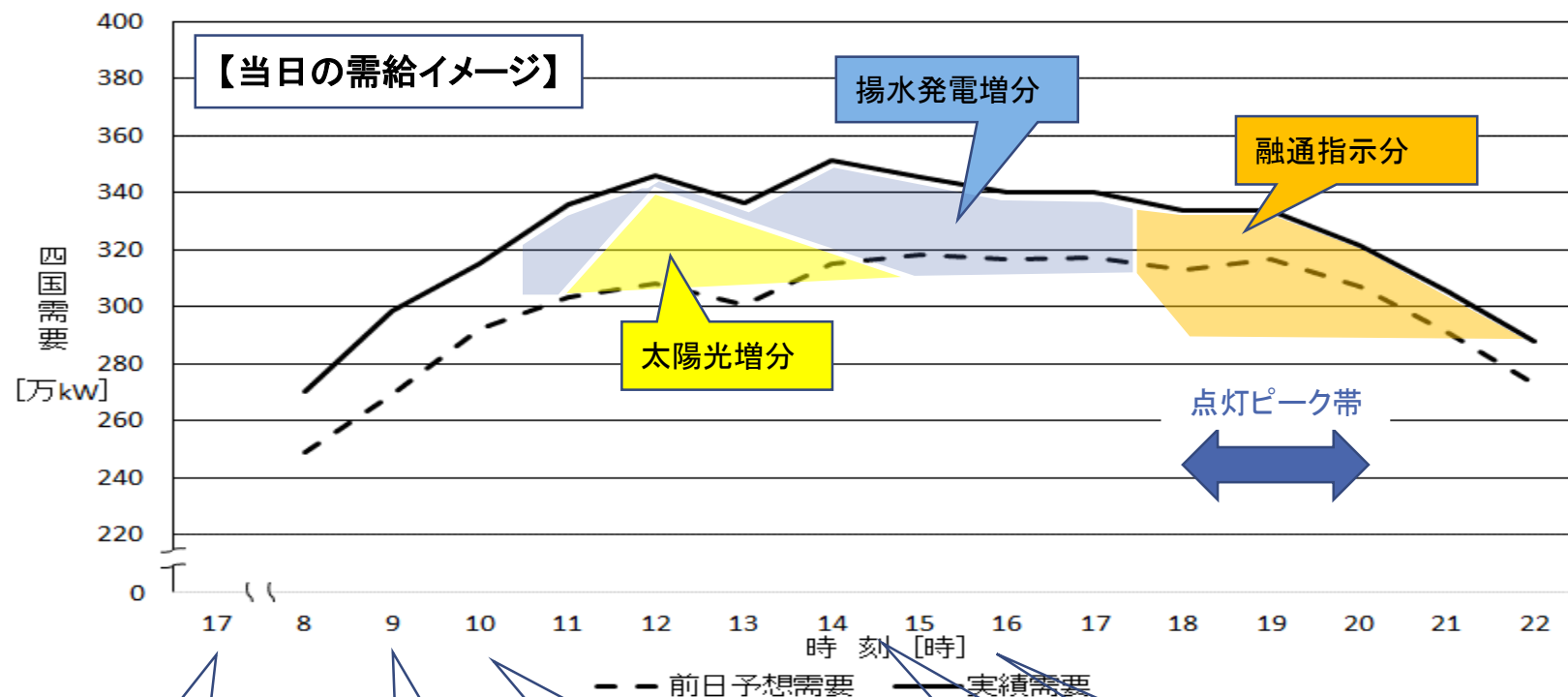
2. 指示の内容

- ・中国電力は四国電力に17時30分～22時00分の間、最大50万kWの電気を供給すること
- ・四国電力は中国電力から17時30分～22時00分の間、最大50万kWの電気の供給を受けること

3. 指示をした年月日及び時刻

- ・平成27年9月26日 16時30分

- ・当日は朝から需要が予測を上回ったため、需給状況の監視を強化しました。
- ・当初想定以上に揚水発電を実施した結果、下池水位が上限となり、点灯ピーク帯前後の供給力が不足したため、需給ひっ迫融通の指示が必要と判断しました。



【前日17:00】
・翌日の需給
予想は予備率
13.1%で、十分
な予備力がある
ことを確認

【当日9:00】
・需要立上
りが急峻で
あることを
確認、監視
を強化

【当日10:00】
・四電に需給状況を確認
・見直し後の予備率は
5.2%、供給力は揚水
にて確保、との回答

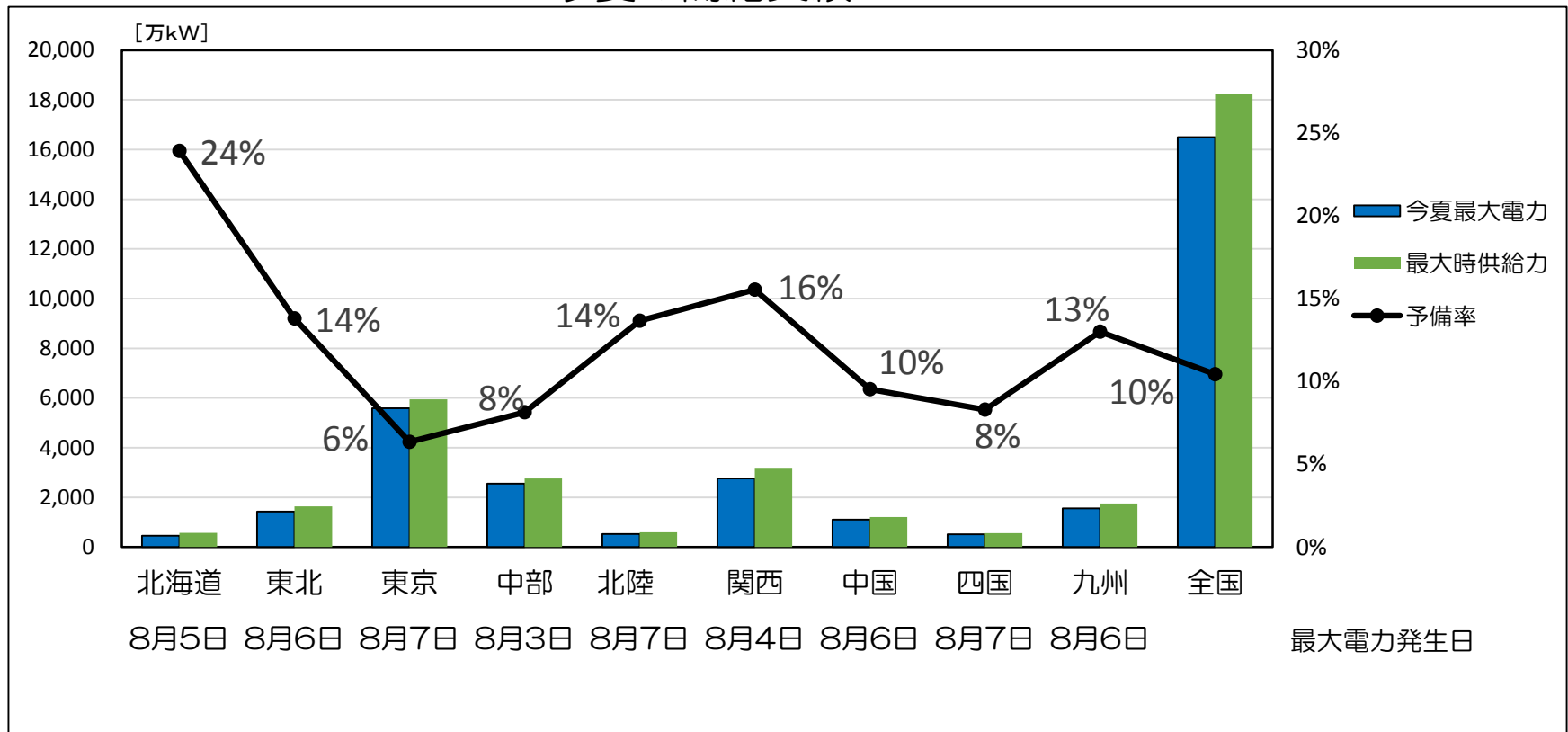
【当日10:00～15:40】
・四電と連絡を密に取り
合い、最新の供給力を
把握

【当日15:40】
・点灯ピーク帯に使用する予
定であった揚水発電を昼間
に使用したため、17時30分
～22時に最大50万kWの融
通が必要と判断

3. 全国及び供給区域ごとの需要に対する適正な供給力の確保状況の評価に関する事項

6

今夏の需給実績



- ・ 東京エリア：2010年並みの猛暑により、震災以降の最大需要電力を更新。供給力に千葉火力の計画外停止（姫路第二火力トラブルの水平展開）等あり。
- ・ 関西エリア：今夏最大発生日における気温、需要はともに概ね平年並み。姫路第二火力の不具合は概ね予定どおり復旧。
- ・ 九州エリア：今夏最大発生日における気温、需要はともに概ね平年並み。

4. 需要者が自らに電気を供給する事業者を変更する際の 手続きの円滑化を図ることを目的とする業務の実施状況

■ルール検討

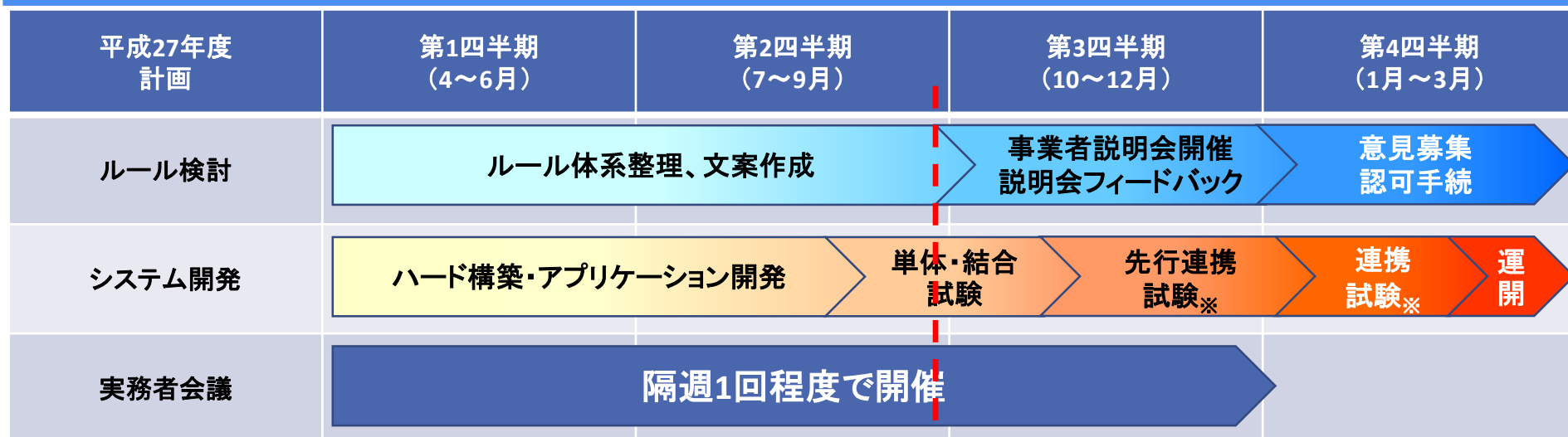
- ・スイッチング支援システムを利用する業務に関する事項：業務規程、送配電等業務指針に記載する内容について整理、文案を第8回スイッチング支援に関する実務者会議にて提示。

■システム開発

- ・小売電気事業者向け開発仕様の開示・改版
 - ー開示：入力チェック仕様、画面レイアウト
 - ー改版：外部インタフェース、コード定義、ファイル定義
- ・アプリケーション開発、単体・結合試験：広域機関内の他システムとの連携試験実施中

■スイッチング支援に関する実務者会議

- ・第8回まで開催済(9/29時点)：会議資料・議事概要は広域機関HPに公開



▲9/29時点

5. その他 ①広域系統整備委員会

8

■ 検討事項

定款第39条第1項の規定に基づき広域系統整備委員会を設置し、以下の事項を検討する

- (1) 広域系統長期方針に係る検討
- (2) 広域系統整備計画に係る検討 など

■ 概要スケジュール

項目	平成27年度				平成28年度
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	
委員会開催予定	★ ★	★ ★ ★	★ ★ ★	★ ★ ★	
長期方針	策定内容検討	調査・各種情報収集	シミュレーション・評価		
			あるべき姿、実現に向けた考え方	▼ 取りまとめ	
東北東京間連系線	電気供給事業者募集	対策案検討・評価	▼ 基本要件決定	対策実施案募集・評価	▼ 整備計画決定
				費用負担割合、整備計画取りまとめ	
東京中部間連系設備（FC）	対策案検討・評価	▼ 基本要件決定	対策実施案提案・評価	▼ 整備計画決定	
				費用負担割合、整備計画取りまとめ	

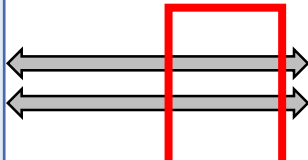
■ 委員会の議事

開催回	議事	備考
第3回 (H27.7.28)	➢ 基幹系統を構成する送配電設備の増強等にかかる費用負担の考え方および一般負担基準額設定の検討の進め方について ➢ 広域系統整備計画（東北東京間連系線、東京中部間連系設備（FC）） ➢ 長期方針	➢ 電気供給事業者一部応募取り下げ（H27.7.7） [応募取り下げ後の電力取引拡大希望量] 15社（19発電所） 507.3万kW (▲1社 ▲2発電所 ▲20.4万kW)
第4回 (H27.8.24)	➢ 広域系統整備計画（東北東京間連系線、東京中部間連系設備（FC）） ➢ 長期方針 ➢ 計画策定プロセスの検討開始要件適否の状況及び適合案件の進め方について	➢ 中国九州間連系線が計画策定プロセス検討開始要件に適合（2020年度以降の長期空容量） ⇒計画策定プロセスの具体的進め方は、<u>広域系統長期方針の検討を踏まえ今後決定</u>
第5回 (H27.9.14)	➢ 広域系統整備計画（東北東京間連系線、東京中部間連系設備（FC）） ➢ 長期方針 ➢ 一般負担基準額設定の検討の方向性について	➢ 広域系統整備に係わる基本要件及び受益者の範囲（案）の確認（東北東京間、FC）

■ 検討事項

- (1) 調整力の今後のあり方に係る検討
- (2) 連系線マージンの今後のあり方に係る検討

■ 概要スケジュール

項目		平成27年度		H28 年度
		上期	下期	
調整力	需給バランス調整・周波数制御のための調整力について、 ・これまでの必要量の考え方の再確認・見直し可能性検討 ・調査による代替案有無・適用可能性の検討 ・考え方の見直しの方向性に関する検討			
マージン	・連系線期待分をマージンとして設定する現行の考え方の再評価 ・マージン減少の考え方 ・系統の安定を保つために確保するマージンの考え方の再評価			

■ 委員会の議事

開催回	議事
第3回 (H27.7.24)	➤ 短期断面における調整力確保の考え方の現状等について ➤ 短期断面における調整力必要量の検討について ➤ 長期断面における調整力等必要量の検討について
第4回 (H27.8.24)	➤ 検討の進め方の再整理について (概要) 事業者区分を考慮しない検討→送配電が確保する調整力の検討の2 Step で検討する。 ➤ 長期断面の検討について (概要) 供給信頼度を表す指標の候補として、従来の指標の他に欧米で用いられている2種類の指標を追加したうえで、従来考慮されていなかった風力・太陽光の影響も考慮した検討を進める。 ➤ 短期断面の検討について (概要) 需給変動の要因を6種類に区分し、それぞれについて、変動の大きさの分析を進める。 ➤ マージンの論点整理について